

令和4年4月1日「日本ユニシス(株)」社名変更

(新社名) BIPROGY株式会社へ

「デジタルコモンズ」で持続可能社会を 2022年4月 新社名「BIPROGY」へ

— 私たちは、未来の持続可能社会の担い手となる青少年の健全育成を応援します！ —



日本ユニシス(東京、社長平岡昭良)は、日本初の商用コンピューターの提供以来、60年以上にわたって社会や産業を支えるシステムの構築やICTサービスの提供により、日本国内の情報サービス産業の形成・発展に貢献してきました。

また、SDGsに代表されるように持続可能な社会の実現に向けて、早くから業種・業態の垣根を越えさまざまな企業をつなぐ「ビジネスエコシステム」の中核となり、顧客・パートナー企業と共に、社会を豊かにする新しい価値の創造と社会課題の解決に取り組んできました。

そしてこれらの取り組みを加速させ、社会的価値創出企業に変革していくため、2030年までの目指す姿として「Vision2030」を制定しました。

この中で掲げているのが「デジタルコモンズ」で、「ビジネスエコシステム」からさらに一歩進んで、「社会的価値」と「経済的価値」の創出という両輪を回し、持続可能な社会づくりを目指していきます。さらにこれに合わせてコーポレートブランドも刷新。2022年4月1日付で会社名(商号)を『BIPROGY(ビプロジー)株式会社』に変更します。新社名の由来は、光が屈折・反射した時に見える7色(Blue, Indigo, Purple, Red, Orange, Green, Yellow)の頭文字を使った造語です。光を集約し、7色に輝かせるハンズオンカンパニーとして、あらゆる垣根を越えた先にある、“光彩”が混ざりあった世界を表現するとともに、「さまざまなビジネスパートナーや多種多様な人々がもつ光彩を掛け合わせ、混とんとした社会の中で新たな道を照らし出す」、そして「光彩が状況に応じて変化するように、社会や環境変化に応じて提供する価値を変えていく」、そのようになりたいという思いが込められています。